

「新しい警戒ステージについて（改定道案）」に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

1-①

道案については妥当。
ステージ分類の統一は重要なので早めに対応してほしい。

1-②

道の改定案について異論なし。
感染者数の急増で今までの指標では合わなくなっていること、PCR検査数の限界もありステージ後半では新規感染者数の重要性が薄れてきているので、病床数の逼迫具合を目安にすることは合理的。

1-③

これまでは、根拠指標がダブルスタンダードであり、分かりにくいと感じていたので、ステージを統一されるのは良いこと。今後の出口戦略に関しても様々な意見が出てくるので、その前に統一されることは非常に有意義。

1-④

警戒ステージ等の見直しについては、全国との比較も容易になったことから、本道の置かれている状況を客観的に示すことなどにより、道民の危機意識の醸成に向けて効果的に活用してほしい。

1-⑤

特に追加意見等はなし。
医療機関の連携等の方策についても、ステージに応じて対応する必要があるが、今後、少し落ち着いた段階で整理いただきたい。
今後、デルタ、ラムダに加え、新たな変異株の出現もありえる。人の出入りする口が決まっている北海道としては、まず外から入れないことが重要で、道外との行き来を強く止めることは難しいとしても、検査体制については必要に応じて強化できるよう検討してほしい。

2 市町村・関係団体の意見

2-①

警戒ステージの改定に関しては異論なし。
指標については、単なる目安としての取扱いではなく、出口戦略の基準値、目標値として、しっかりと活用してほしい。

2-②

引き続き、「道の警戒ステージ」を持つのではなく、「国の警戒ステージ」だけを使用することとし、「道の警戒ステージ」を廃止したほうがわかりやすいのではないかと。

2-③

国の警戒ステージとの混同を回避すべく、「警戒ステージ」の段階を国に揃えることを先行して改定することに異論なし。

北海道のこれまでの感染状況を総括した場合、東京感染拡大→札幌感染拡大→道内各地感染拡大は明白。首都圏の感染状況をしっかりとモニタリングした上で、北海道の地域性・広域性を考慮し、判断・運用を行ってほしい。

また、変異株、ワクチン接種の進捗等により、感染状況が変化し、それに即した改訂・対応が急務であり、迅速に適用すべく準備・検討に万全を期してほしい。広域分散型社会構造である北海道の実情を反映した改定を期待。

実行再生産数など、感染拡大の兆候を示すデータもあることから、有効なデータ・情報のモニタリングの強化と道民へのわかりやすい周知をお願いしたい。